

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品、貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

構築物、車両運搬具、什器備品、ソフトウェア・・・定額法によっている。

(3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前(平成20年3月31日以前)の所有権移転外ファイナンス・リース取引並びにリース会計基準適用後(平成20年4月1日以後)の所有権移転外取引の内リース料総額が少額(3百万円以下)のリース取引及びリース期間1年以内のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は、4,468,548円である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
構築物	9,979,750	0	583,000	9,396,750
車両運搬具	6,733,391	0	2,992,617	3,740,774
什器備品	2,180,044	0	455,090	1,724,954
事業運営積立資産	7,000,000	0	0	7,000,000
合 計	25,893,185	0	4,030,707	21,862,478

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
構築物	9,396,750	(9,396,750)	(0)	—
車両運搬具	3,740,774	(3,740,774)	(0)	—
什器備品	1,724,954	(1,724,954)	(0)	—
事業運営積立資産	7,000,000	(0)	(7,000,000)	—
合 計	21,862,478	(14,862,478)	(7,000,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	11,000,000	1,603,250	9,396,750
車両運搬具	11,970,470	8,229,696	3,740,774
什器備品	3,993,342	2,268,305	1,725,037
合 計	26,963,812	12,101,251	14,862,561

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営費補助金	長岡市	0	67,453,441	67,453,441	0	—
派遣職員人件費補助金	長岡市	0	18,613,000	18,613,000	0	—
長岡まつりふれあい広場 事業補助金	長岡市	0	4,000,000	4,000,000	0	—
観光客受入れ関係 事業補助金	長岡市	18,893,185	0	4,030,707	14,862,478	指定正味財産
観光客受入れ関係 事業補助金	長岡市	0	1,449,772	1,449,772	0	—
観光地域づくり支援 事業補助金	新潟県 観光協会	0	200,000	200,000	0	—
合 計		18,893,185	91,716,213	95,746,920	14,862,478	

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	4,030,707
合 計	4,030,707